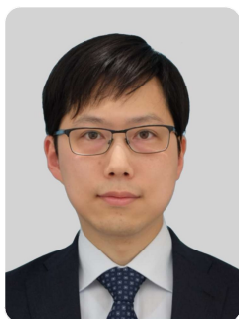


山下太郎奨励賞 2部門の受賞者決定について

令和8年5月27日
一般財団法人山下太郎顕彰育英会

一般財団法人山下太郎顕彰育英会(理事長 山下和男)は、選考委員会の答申に基づき、「第37回山下太郎学術研究奨励賞」の受賞者2名と、「第35回山下太郎地域文化奨励賞」の受賞者3団体を、当法人理事会において正式決定しました。

第37回山下太郎学術研究奨励賞



佐々木 崇 氏

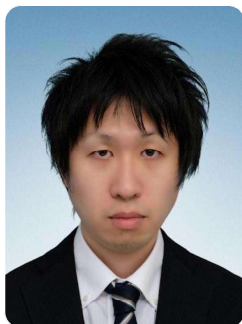
東京都健康長寿医療センター研究所・研究員

現住所 … 東京都品川区
年齢 … 40歳
出身地 … 秋田県大仙市
出身校 … 秋田県立横手高等学校～東北大学～東京大学大学院
専門 … 応用生命化学、分子細胞生物学
学位 … 博士(農学) / 東京大学

受賞対象となる研究業績の主題

骨格筋機能を制御する新規分子機構の解明

第37回山下太郎学術研究奨励賞



嵯峨 裕 氏

大阪大学大学院 工学研究科・助教

現住所 … 大阪府茨木市
年齢 … 39歳
出身地 … 秋田県秋田市
出身校 … 秋田県立秋田高等学校～東京大学～同大学院
専門 … 有機合成化学、創薬化学、光/電気化学、錯体化学
学位 … 博士(薬学) / 東京大学

受賞対象となる研究業績の主題

光/電気駆動触媒による廃棄炭素資源の分子変換化学の創成

第35回山下太郎地域文化奨励賞

認可地縁団体 梅内聚落



区長 野呂勝彦氏

- ・事務局 … 秋田県能代市
- ・世帯数 … 154世帯
- ・沿革等 … 1996(平成8)年6月1日、地方自治法に基づく地縁団体法人を設立。2012(平成24)年には、梅内聚落の活動主体である「ニツ井宝もりの森林プロジェクト」を立ち上げ、様々な活動を展開する。その後も、少子高齢化が進む限界集落ともいわれるなかで、「梅内山菜倶楽部」を設立するなど、地域資源を活かした積極的な取り組みを行い、地域の活性化に努める。



連携事業で国際教養大学生との集合写真

受賞対象となる研究・活動の主題

地域資源を活用し、地域コミュニティを強化しながら「限界集落・梅内」を未来に残す

第35回山下太郎地域文化奨励賞

本多上野介正純公を学ぶ市民の会



会長 多賀糸敏雄氏

- ・事務局 … 秋田県横手市
- ・会員数 … 53名
- ・沿革等 … 近世横手の地に配流された本多上野介正純公の歴史検証などを目的に、2004(平成16)年10月に任意の民間団体として設立。以降、同氏の生涯について調査研究を行うとともに、学習会や講演会などとおしてその成果を発表する。また、所縁の地である宇都宮市との交流、現存する墓地の整備を行うなど、歴史探訪地としての誘客にも努める。

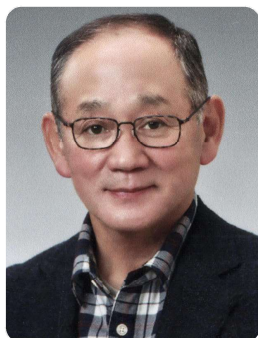


本多正純公献茶会の様子

受賞対象となる研究・活動の主題

本多上野介正純公の生涯と本人にまつわる歴史の検証

第35回山下太郎地域文化奨励賞



ほろわハンドベルサークル

代表 菊地清志氏

- ・事務局 … 秋田県横手市
- ・会員数 … 13名
- ・沿革等 … 2017(平成29)年3月に結成。急速に進む高齢化と一人暮らし世帯の増加という深刻な課題を持つ地域において、元気な地域づくりを目的に、ハンドベルをとおした文化活動を行う。会員の演奏技術向上を図るとともに、その成果として地域イベントで発表するほか、地域外での演奏ボランティアなども積極的に行いながら地域発信にも努めている。



「小学生夏休み・禅のつどい」での演奏風景

受賞対象となる研究・活動の主題

ハンドベル演奏による地域福祉と音楽文化活動